



平成18年度の活動

管理組合理事による 活動イメージづくり

管理組合 総会

管理組合理事による 詳細検討

検討委員会設立・住民の意見収集 (アンケート・アイデア募集)

管理組合理事による 詳細検討

060117—管理組合理事会議資料

住まいまちなみ賞の活動資金の使途について

- 建物の色彩感導 屋根の色、外壁色、アクセントカラー
- 建築協定の見直し 高齢社会に向けた対策(駐車場、スロープ等)
- ホームページ開設 固定情報+生鮮情報

【 対外PR(Open 面) 】

①団地の歴史 ②活動の経緯 ③受賞経緯
④法制度(建築協定、地区計画、管理組合規約、建築協定運営委員会規約)
⑤図集等資料

【 団地内情報提供 (Close 面) 生鮮 】

①組合員 総会、臨時総会、研修活動、消毒 スケジュール及び資料
古紙回収、稳定板回収スケジュール
その他、自治会イベント等

②役員 理事会、維持管理活動スケジュール及び資料、ネット上の理事会
まちづくり専門家(二瓶氏、津田氏、塩井氏、他)
掃除専門家

③アンケート 随時、管理運営上の課題

【 住居の便利情報 (Close 固定+生鮮) 】

①通学 バス、JR、駅
②通学 学校、病院、市役所、区役所、警察、タクシー、スーパー、理容・美容
③地域イベント等 祭り、冠婚葬生状況
④住民の情報 お気に入りのお店

※ランニングコストの抽出(管理組合費で認められるか)
※商店のPRで協賛金はもたえないか?



総会での方針決定

平成18年6月7日

青葉台ぼんえるふ管理委員会 各位

まちづくり活動支援金の使途に関する住民意向調査について

昨下、ますます需要のご要望を申し上げます。
さて、管理組合理事会で議論となりました「住まいのまちなみコンクール」創設の150万円のまちづくり活動支援金^(注)については、組合員が参加した委員会の中で、現在、使途などについて、検討を行っているところで、ご意見を伺っております。

この委員会での検討の参考とすため、広く組合員の意見を聞くこととなりましたので、別紙調査用紙をにご覧いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

機密のため、平成18年6月17日(日)、矢野(コモン)、藤田(コモン)、藤田(コモン)、岡川(コモン)の郵便ポストにご投函してください。

*1 住まいのまちなみコンクールとは
まちづくり活動支援金を活用し、住宅生産協賛団体の協力で、「まちづくり現場」の行事の一環として実施しました。これは、良好なまちづくりを模範として、団体もまちづくりのモデルとして貢献。支援すること、まちづくりの維持管理活動の向上にも期待したものです。平成17年度第1回コンクールでは、岡川(コモン)の郵便ポストにご投函くださいました。

*2 まちづくり活動支援金は
受取団体にて分配される(組合員にのみ)の分配が限られます
の範囲内となります
の範囲上となる(注)の総額
総額150万円の活用とします。

まちづくり活動支援金の使途に関する住民意向調査票

1 活動支援金の使途はどんなものがよいですか?
ご意見、年齢、性別、職業別ご記入ください。活動の維持管理(注)は使用しないでください。

(1)使途について、何がアイデアになりますか、いづれがCO、
・ある ・ない

(2)「ある」と回答された方にお願いします。
それはどんなアイデアですか。その構成と効果をお知らせください。

(3)「ない」と回答された方にお願いします。
理由について、何がアイデアになりますか、いづれがCO、
・する ・しない ・ない
・理由 ・理由 ・理由 ・理由

2 あなたが家のインターネット環境を教えてください。
(1)ご自宅にパソコンがありますか、いづれがCO、
・ある ・ない

(2)インターネットに接続していますが、いづれがCO、
・している ・していない

(3)ご自宅にLAN、インターネットを併用していますか。
・1日 1時間 週 1時間

記入者氏名 ()コモン

ありがとうございました。

平成18年7月9日

青葉台ぼんえるふ管理委員会 各位

まちづくり活動支援金の使途に関する投票について

昨下、ますますご要望のごことお喜び申し上げます。
さて、「住まいのまちなみコンクール」創設の150万円のまちづくり活動支援金について、アンケート調査にたいはご意見をありがとうございました。(別紙1参照)

その結果、25件のアイデア(重複あり)を整理いたしました。その中から

- 1) 活動支援金の使途がなくなったことであること。
- 2) 活動支援金の使途がなくなったことであること。
- 3) 通常の管理組合活動の中で実行できるものについては除外する。
- 4) 150万円の範囲内で実行可能なものであること。

といった観点から検討委員会にて3つの候補に絞り込みました。(別紙2参照)

つきましては、各案件につき投票にて賛否を問い、過半数の支持を得たものについて(管理組合の責任の下、引き続き、まちづくり活動支援金検討委員会との協議も続けながら実行に移していくことと致します。

まちづくり活動支援金検討委員会

委員長	田中 祐	(F コモン)
副委員長	森田 清次	(E コモン)
委員	藤田 由美子	(O コモン)
	立石 裕彦	(O コモン)
	矢野 千加史	(O コモン)
	大川 慶夫	(E コモン)
	岡川 憲太郎	(G コモン)

まちづくり活動支援金の使途(案)

- 【高齢化社会に対応したまちづくりプランの作成】
高齢化社会を迎えるに際し、駐車場の拡張(車椅子での乗降スペースの確保)や玄関までのスロープ設置といった問題が出てくると思われる。各世帯単位で調査を実施して設計する(個人による)の集約や統一が必要と思われる。そのため、アンケート(注)などを利用して、包括的な設計、ソフトなプラン作成を依頼する。併せて、関係者と連携していく。
- 設計費、プラン作成・印刷費
費用負担先: コモン
- 【団地内のまちなみ調査研究】
事務局(専門家への委託費)
研究のための費用
高齢化社会の課題
高齢者向けの調査(専門家への委託費)
団地内調査: 調査員は各ホームページ等に居住する住民の参加
- 【駅先見みの見直し】
高齢化社会を迎えるに際し、駐車場の拡張につながるような新しい駅の構造づくり(徒歩)を推進する。
事務局(専門家への委託費)
調査費
- 【夜間照明の改善】
・まちづくりの推進にも、専門家に依頼する。設計費用負担先: コモン
・団地の敷地内、公道の照明
- 【ガーデニング調査会の開催】
・費用負担先: コモン
・調査員は各ホームページ等に居住する住民の参加
- 【光ファイバーの敷設工事】
将来的にファイバーが敷設できるように配管が敷設されているが、住宅によっては、配管が埋まっているか調査できない箇所がある。別途工事費を要する。費用負担先: コモン
- 【記念イベントの開催】
写真会、スポーツ大会を開催する。
まちづくり活動支援金
- 【ホームページ作成】
・住民の権利共有
・住民の権利共有
・活動の報告
・活動の報告
・活動の報告
・活動の報告
・活動の報告
・活動の報告

平成18年7月30日

青葉台ぼんえるふ管理委員会 各位

まちづくり活動支援金の使途に関する投票結果について

議案の経緯、ますますご要望のごことお喜び申し上げます。
さて、「住まいのまちなみコンクール」創設の150万円のまちづくり活動支援金について、投票いただいた結果、下記の通り、決まりましたので、ご報告申し上げます。

議

投票数	57票	うち	有効票	56票	無効票	1票(無記名)
-----	-----	----	-----	-----	-----	---------

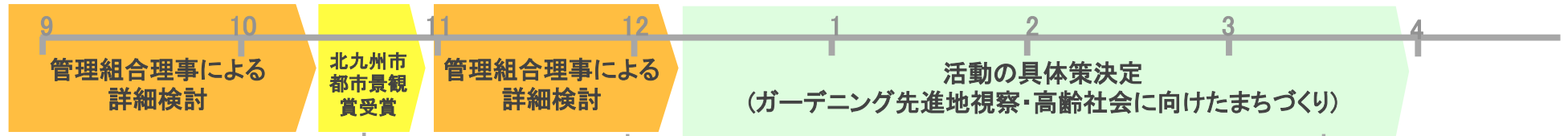
	賛成	反対	棄権
「高齢化社会に対応したまちづくりプランの作成」	53	3	0
「ガーデニング調査会の開催」	47	8	1
「ホームページ作成」	27	28	1

投票依頼の文面にてお伝えしていた通り、過半数の賛成を得た以下2件の案件
「高齢化社会に対応したまちづくりプランの作成」
「ガーデニング調査会の開催」
につき管理組合の責任の下、実行に移していくことと致します。

以上



平成18年度の活動



■ガーデニング計画策定の活動内容

平成18年11月30日
ヒラタナーセリー本城店に園芸講座の問い合わせ。

平成18年12月17日
松本造園に樹木管理講座についての問い合わせ。

平成19年1月20日
ヒラタナーセリー本城店、店長と第一回目の園芸講座打ち合わせ。
打ち合わせ内容・・・講座時間、料金、会場、実施時期等。

松本造園の森若社長と第1回目の樹木管理講座打ち合わせ。
打ち合わせ内容・・・講師料、講習内容、実施時期等。

平成19年1月27日
青葉市民センターにて、ガーデニング計画(園芸講座・樹木管理講座)について、管理組合理事と内容検討。

平成19年3月17日
二瓶氏、柴田氏、管理組合理事によるガーデニング計画の内容を再検討。
「継続性のある活動」というテーマで検討した結果、組合員による園芸活

「青葉台ぼんえるふ」高齢化に向けたまちづくり調査業務作業概要
070329 urbansection

□業務の目的

「青葉台ぼんえるふ」も住民が住み始めてから15年が経過し、増々成熟した美しい景観と良好な環境を誇る住宅地となっている。これは住民の方々の環境に関する不断の関心と維持努力の賜物である。そしてこのことが今回にも評価され、「住まいのまちなみコンクール」受賞へとつながった。

そのような「青葉台ぼんえるふ」において、環境への意識や建築協定に関する住民の意向を限段階で調査することは、将来のまちづくりに向けて、重要な観点となりえる。特に将来の住民高齢化に伴う、家や外構に対する様々な要望を検討することも必要になると思われる。

今回の業務では、このような観点から、住民の意向調査を行い、環境管理上の課題を明らかにすることが最初の目的となる。またさらに現地の実態調査によって、現状の問題点を整理し、建築協定に附随する整備基準を検討することにより、将来のまちづくりの指針としたい。

□業務スケジュールと作業概要

- ・住民意向調査 (2007年4月～9月)
- ・全所帯に対してアンケートを行い、環境に対する評価や要望を収集分析する。
- ・現地環境調査 (2007年6月～8月)
- ・環境の維持状態、駐車場の使われ方などに関して現地調査を行い実態を把握する。
- ・将来のまちづくりに対する課題の抽出 (2007年10月～12月)
- ・高齢化に伴う様々な課題や住民要望を整理し、将来のまちづくりの課題としてまとめる。
- ・まちづくりの整備基準の検討 (2008年1月～2月)
- ・住民要望の多い課題に関しては、具体的な整備基準を検討し、建築協定との整合性を整理する。
- ・報告書の作成 (2008年3月)



まちづくり活動支援金検討委員会 提案

「高齢化社会に対応したまちづくりプランの作成」

高齢化社会を迎えるに当たり、駐車場の拡張(車椅子での乗降スペースの確保)や玄関までのスロープ設置といった問題が出てくると思われる。各世帯が自己判断で業者に依頼して設計するとぼんえるふの景観や統一感が損なわれる恐れがある。アーバンセクションなどに全世界の設計、レイアウトプラン作成を依頼する。併せて、勉強会も実施していく。

「ガーデニング講習会の開催」

樹木医による講演、もしくは、コモン毎に指導を受け、長期ビジョンを持って全員で取り組むことにより、コモンの美観向上を進めるとともに、参加・役割意識の醸成を図る。